

政治学研究科政治学専攻・博士課程在籍者各位

政治学専攻における博士号学位請求の審査日程とプロセスについて (2023年度)

2023年4月
政治学専攻

政治学専攻における学位プロセスは下記のとおりです。以下のすべてのプロセスを経なければ、学位請求はできませんので、十分に注意してください。なお、各ステップに先立ち、発表・提出内容について、必ず指導教員から明示的な了承を取り付けるようにしてください。

今後も掲示板等における告知に十分注意してください。なお、学位請求や論文作成にあたっては、この文書だけでなく、必ず大学院要項も熟読し、重要事項を確認するようにしてください。

記

博士号の学位請求を行うにあたっては、以下の要件を満たす必要があるため、指導教員と相談しながら、適切なペースで研究活動を進めてください。

1. コースワークの実施

- (1) 1年次に選択必修科目を4単位以上取得してください。※2019年度以降入学者対象
 - ・ 「政治学特別講義1・2」及び「国際政治学特別講義1・2」が設置されています。
 - ・ 原則として、指導教員が開講する科目を履修してください。(専任教員はそれぞれ「政治学特別講義」か「国際政治学特別講義」のいずれかを担当します。)
- (2) 1年次から3年次にかけて、論文指導科目を12単位以上取得してください。
 - ・ 「博士論文演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」が設置され、それぞれ原則として、春学期(A)と秋学期(B)に開講されます。
 - ・ この科目は、研究指導にあたる科目ですので、指導教員が開講する上記名称科目を履修してください。
 - ・ 標準年限(3年)を超えて在学する場合には、「博士論文演習ⅢA・B」を重複して履修してください。

2. 論文構想の発表

- ・ 博士論文を提出する前に、論文構想発表会で博士論文の構想を2回発表してください。これは学位請求の要件となっています。
- ・ 論文構想発表会は、年に2回(春学期1回、秋学期1回)開催される予定です。開催日時の詳細は、別途掲示等で確認してください。
- ・ 学生が論文構想を発表するタイミングは、特に定められていません。研究の進捗状況を踏まえて、指導教員と発表時期を相談し、必ず発表を行ってください。(例えば、2年次秋学期と3年次春学期など)
- ・ 学生は、論文の構想をまとめたレジュメを当日配布してください。参考文献一覧(枚数制限なし)も添付してください。
- ・ 学生が20~30分程度で論文構想を説明し、教員陣がコメントします。

3. 博士論文の提出

2023 年度中に博士号取得を希望する学生は、指導教員と連絡をとりながら、以下のスケジュールに沿って手続きを踏んでください。

学位申請と論文提出：

博士論文を提出する予定の者は、大学院要項の該当頁で指定されている書類を作成し、指導教員の了承を得たうえで、下記期限までに大学院事務課に学位を申請し、論文を提出してください。

なお、申請書類は、論文そのもの以外にも多数あるため、十分な時間的余裕をみて各種書類の作成・準備にあたってください。

- ・ 2023 年 9 月学位授与希望者

2023 年 1 月 31 日まで (締切済み)

- ・ 2024 年 3 月学位授与希望者

2023 年 9 月 30 日まで

4. 口述試験

- ・ 実施日：博士論文審査委員会が日程を決め、実施場所とともに学生に連絡します。
- ・ 提出した博士論文について、口述試験による審査を受けます。
- ・ 審査委員会が学生の口述試験（1 名あたり 1 時間程度）にあたります。

(以上)